



理研興業

高性能防雪柵 (誘導板付忍び返し)
国交省の公共技術活用に選定
東北初の画期的製品として

本県でも長年の実績がある防雪柵メーカーの理研興業(株)(本社・北海)の製品「高性能防雪柵(誘導板付忍び返し柵)」がこのほど、国土交通省の「公共工事において活用する技術に選定された。平

成十六年度に全国から一五二件の技術公募があり、うち今回は八件の技術が選定された中に選ばれた。国土交通省では今後、五年をめぐりに国の直轄工事に積極的に活用していく考えで、同社では今回の選定を受け、今後も新技術開発の取り組みをより促進していく考えだ。(写真)

今回選定された「高性能防雪柵(誘導板付忍び返し柵)」は、道路の吹き溜まり防止や吹雪による視程障害の緩和を目的にした防雪柵で、従来型の防雪柵では防雪効果が発揮が難しい過酷な気象条件と地形条件下において、高い防雪機能を発揮できる製品で、同社が北海道工業大学の白濱芳朗教授と共同開発。特に視程障害緩和効果が優れており、路肩への設置や幅広員道路、高規格道路に対応できる製品だ。柵の構造は風上側からの飛び雪効果が従来の柵に比べ、より遠方の風上に対して強く、忍び返し部を抜けて誘導板に沿って流れることによって、柵上端に発生する剥離渦を抑制。柵直後の下降流が発生しにくく、雪の堆積がほとんど無いため、柵を道路端に近接することが可能だ。用地買収が困難な場所への設置や事業予算に制約のある箇所への設置などあらゆる条件下にも対応できる。開発にあたり、風洞模型実験による柵周辺の堆積状況や柵周りの流れの挙動、フィールド実験による結果から高性能防雪柵の特性を検証しており、現在特許申請中だ。また、未使用時には新開発のリンク機能により、屈曲部位を連動して昇降することが可能で、ウィンチャユニットにより安全で簡単に折りたたむことができ、景観面にも配慮されている。国土交通省の新技術情報提供システム(NETIS)にも登録されるなど各官公庁からも注目を集めている。なお、製品に関する詳細の問い合わせ先は理研興業(株)東北営業所(青森市古川一丁目一〇一三・A)QUA古川一丁目ビル2F、TEL0177-7351188、FAX0177-3511251(まで)